



東海大学医療スタッフの皆さんと

議案審議	2
一般質問	3
委員会報告	6
議員レポート	7
編集後記	8

当初1000人分のワクチンが小笠原に到着し医療従事者、高齢者、母島島民、と優先順位を決め接種を開始しました。そして東京都と東海大による連携協力締結により1000人分のワクチンが追加され東海大学医療チームの支援により12歳以上の一般島民への集団接種が実施されました。東海大学の望星丸という船で来られた医療チームの皆さん本当にご苦労様でした。ありがとうございます。医療体制の厳しい小笠原において重症化リスクが下げられることはありがたいことです。

清水良一

こんなことが決まりました

令和3年第2回定例会
6月23日、24日

斜面对策及び敷地造成工事（母島保育施設）の契約

契約の目的 母島保育施設整備のため

契約金額 8069万6000円

契約の相手 杉田建設株式会社

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の改正

会計年度任用職員の職種に薬剤師を追加しました。

固定資産評価審査委員会条例の改正

審査申出書への押印及び口述書への署名押印が不要となりました。

法面对策工事（母島診療所）

契約の目的 母島診療施設整備のため

契約金額 1億3750万円

契約の相手 杉田建設株式会社

沖村浄水場改良工事（プラントⅣ）

契約の目的 母島浄水場改良のため

契約金額 7920万円

契約の相手 昱株式会社

令和3年度一般会計補正予算を可決 総額1千97万円を追加

- ✓ 沖村職住12号棟改修 254万円
- ✓ 地域福祉計画製氷機の更新 308万円
- ✓ 新型インフルエンザ予防接種定期接種化のためのシステムの連携対応 71万円
- ✓ 消防車等管理経費増額 22万円 など

このほかの議案などは、すべて賛成多数で可決しました。くわしい審議結果は、小笠原村ホームページをご覧ください。

一般質問

清水良一議員



島内のゼロエミッションに向けて

清水議員 廃棄物を出さない循環型社会の構築が叫ばれている。国や都でも温室効果ガスを2050年までに実質0にする果敢な目標を立てた。①島内ガソリン使用量について②EV（電気自動車）の現状と導入状況は③ゼロエミッションに関する補助金について④マイカーを減らすための村営バス活用策について⑤朝一のバスを通勤ようにも増便の検討は⑥ノーマイカーデー等の啓蒙活動について⑦生ごみ堆肥化の現状と今後のビジョンは⑧村の温暖化ガス削減目標は2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明について。

環境課長 ①令和元年およそ62万kl②平成31年官内車両台数3046台中EVは35台程度1.1%③地域環境力活性事業という東京都の補助事業がある。中古EV・PHVの購入、戸建て向け充電インフラ整備などの経費を補助する制度⑥村民だより等で啓蒙活動は行っている。⑦母島では生ごみの分別改修を実施。昨年度実績20トンを発酵分解させ土に返した。堆肥にはしていない。

産業観光課長 ④1日乗車券の値下げ節エネルギー定期券の販売等実施、今後も利用促進に向けた取り組みや周知宣伝に務め、定期券の料金設定について検討。⑤通勤に使える便の検討の予定なし。⑦良質で安価な有機質肥料は農業振興に役立つ。

副村長 ⑧村自身が掲げた目標に向けて進める。ゼロ表明はしなくても我々の中で思いを持つことが重要。

清水議員 エネルギー協議会、ゴミ会議等早急に民間を交えて開催希望。

片股敬昌議員



子供たちにとって安心安全な学校であり続けるために

片股議員 NHKによると千葉県では昨年1年間でわいせつ等の不祥事で12人が教員免許取り消しになっている。このようなニュースを聞いてどう思われるか。

教育長 このような不祥事が一旦起きると全国の教員が築いてきた信頼を一瞬で失うことになる。決して起こしてはならない、許してはならない。

片股議員 セクハラを受けた女兒が心的外傷後ストレス障害となり学校に行けなくなっている事例がある。子供たちが相談しやすい体制づくりが必要ではないか。

教育長 児童の表情や様子の変化に気づき相談しやすい状況を用意し養護教諭も含めたケース会議で対応する必要がある。教育委員会教育課でも相談に対応してまいります。

片股議員 わいせつ行為で免職になった教員が他の自治体で採用されることはないか。

教育長 教育職員免許法施行規則が改正されわいせつ行為により免職になった者が誤って採用されることはなくなります。

片股議員 性的被害者は生涯苦しんで生きていることを忘れてはならない。教師や警察官が国民から大きな信頼を得ているように議員もそうあるべきだ。教育長の決意を伺う。

教育長 大切な子供のため服務厳正に力を尽くしてまいります。

築舘俊一議員



固定資産税減額について

築舘議員 特別警戒区域の減税（レッドゾーン）指定されている土地建物の構造規制など、土地の利用制限が有るため利用不可である。使用不可の土地に対して固定資産税 10 パーセント減額されている。この削減の意味するものは何か、条例の前より土地（先祖代々の土地）を所有している島民に希望を与える回答は出来ないのか。

財政課長 土砂災害特別警戒区域に指定された区域内にある土地について、建築物の構造規制や特定の開発行為に対する許可制など、土地の利用制限が設けられていることから、固定資産評価基準の所要の補正を適用して価格を決定している。

本村においては、公図との正確な重ね合わせ図がなく一律で補正率を定める方法を採用している。

土砂災害特別警戒区域に指定されたことによる売買価格への影響については、把握しにくい状況ではあるが、土砂災害特別区域に指定されたことにより土地の利用制限が生じていることから補正率 0.9 とし、評価替えを行った令和 3 年度（基準年度）より適用している。

築舘議員 この問題は土地を所有している島民の財産に関わることであり島民が増加している今、これからも色々な意味で関わってくる。

また固定資産税は村にとって大切な財源であり、そのことを踏まえ島民が安心して持ち家を持てる様お願いしたい。

安藤重行議員



コロナ禍での値上げ問題が家計を苦しめている状況に対する対応について。

安藤議員 ①定期航路運賃・国民健康保険等種々の値上げが村民に負担。村は村民の生活安定・安心を図る努力を実施しているのか。②年金生活者等の低所得者の救済は雇用機会の拡充が必要。村民を守る為の振興開発計画が理解しにくい。計画の数値を明示すべき。補助率をぜひ明確に。③定期航路運賃の値上げと同時期に、島民割引が 30% に引上げられた。伊豆諸島の 35% に小笠原もすべき。振興計画で細部に渡って謳っている。運賃低廉化に向け運行事業者への支援策の導入等、村民生活の安定化のためどのような協議がされたのか。④一人暮らしの生活困窮者の対応は。

村民課長 国民健康保険は都が財政運営主体。村の赤字解消のため、段階的に見直し、介護保険は値下げ。両保険は低所得者への軽減措置を図り、困窮者は保健師等が細部対応。

企画政策室長 振興開発計画には雇用や人材育成等の方針を謳ってあるが具体的財政支援が明記されていないのは、補助金の対象メニューに盛込まれていないため。令和 4 年から延長に向けて計画の内容等、国・都・村が協議する。ご指摘事項を具体的に取組むには、村で必要性について議論し、必要があれば新しい特措法の検討・協議の中で図っていきたい。

総務課長 村は他島と同じように 35% を要望してきた。諸事情で 30% に引上げる打診があった。航路検討委員会・議会等に相談の上受入れた。都主催の離島航路地域協議会が年 1 回開催し、その中などで協議を重ねている。

一般質問

金子 隆議員



「おがさわら丸ドック期間変更の影響について」

金子議員 5月に変更されたことで、どのような声があるか。

総務課長 さるびあ丸代船就航実現のため、伊豆諸島航路への影響を考慮し、ドック期間を5月に変更した。都、運航会社、伊豆諸島各町村のご協力に感謝。

変更後の利点としては、代船運航により不便な期間が大幅に解消されたこと。課題として、農漁業生産物の出荷、GW最終便チケットが入手困難だったこと、物流に少々の混乱があったこと等を伺っている。

課題については、個々に対応をお任せする事と、村として対応すべき事を整理したい。

金子議員 資機材等が届かなかったことで、島内事業者や来島された方へ影響が出た事例も聞いた。ドック前の乗船券の取りにくさや島内商店の仕入れの難しさ等、GW直後という日程は特に検討を要する課題として挙がっている。今後、改善に向けての検討は。

総務課長 「代船の2往復運航」「ドック時期を1週間程度ずらす」等の要望がある。費用の問題、代船運行計画の調整、伊豆諸島各町村のご理解も必要となり、検討が可能か打診中。また、引き続き共勝丸にも郵便や貨物輸送のご協力をお願いしていく。

今後、航路検討委員会の協議も踏まえ、課題減少に向け努力する。

副村長 長年かかってようやく代船の就航実現に漕ぎ着けた。諸々の条件により今後も5月ドックを前提にしつつ、課題の改善策を議員の皆様と共に考えていきたい。

稲垣 勇議員



母島における墓地問題について

稲垣議員 返還から5年遅れで母島は復興が始まり、旧島民も定着し、母島のために働いてきて、今も現役で働いている方がおりますが、高齢になってきた今、自分達は、どこへ埋葬してもらえるのだろう。母島には村営墓地が無いし、何とか考えてほしいという要望を頂きました。要望されている方は母島の為に働いてきた方々で母島で最期を迎えたいという希望を叶えてあげたいと考えます。年一度の壮年会が行う墓地清掃伐開活動にも参加して頂いており我々としても、同じ墓地内で供養できればと考えております。村としてすぐ結論が出るとは思いませんがこの事についてどのように考えているか伺います。

副村長 長年母島で暮らしてこられた方が父島の霊園ではなく、母島のお墓に入りたいという思いは理解するが、現時点では結論は言えない。沖村墓地に面した村有地をどのように活用できるのか検討する。

稲垣議員 この問題については民生委員の方からも要望を頂いている。今後定住される方のことも考えていく必要がある。

新型コロナウイルス感染症対策

3月の委員会以降の国・東京都・村の対応などについて報告を受けました。

令和4年度小笠原諸島振興開発事業概算要求

国土交通省から財務省へ提出された小笠原諸島振興開発事業のうち、村が実施する事業にかかる概算要求の内容について報告がありました。

小笠原諸島世界自然遺産

関連する主な会議のスケジュール、愛玩動物の適正な飼養及び管理に関する条例（ペット条例）について報告、質疑がありました。

その他の議題

- 令和4年度東京都予算編成に対する要望
- 東京島しょ農業協同組合新設分割及び母島簡易郵便局について

硫黄島調査特別委員会 6月24日

3月定例会以降の硫黄島に関する動きについて報告、質疑がありました。

遺骨収集帰還事業

▶通年実施の滑走路地区の掘削作業、遺骨収集作業等のスケジュールについて報告がありました。年度内に滑走路地区の掘削は8回、遺骨収集は4回実施する予定です。

訪島事業

▶新型コロナウイルス感染症のまん延状況を考慮し、7月に現地事前調査を行い、秋季実施を決定しました。

10月23日～26日（予定）

その他の議題

- FCLP空母艦載機離着陸訓練
- 海上自衛隊訓練の実施内容
など

小笠原航空路開設推進特別委員会 今定例会会期中の開催はありませんでした。

「小笠原諸島世界自然遺産地域登録 10 周年記念式典」

金子 隆

小笠原諸島の世界自然遺産登録10周年を記念して、6月26日に式典が開催されました。コロナ禍ということでオンライン視聴のみ、当日は500を超えるアクセス数があったそうです。

～主催挨拶・受賞者紹介～

冒頭は笹川環境副大臣と小池都知事から。遺産価値保全には「たゆまぬ努力が必要」であり、「関係機関・有識者・地元住民などの連携」で支えられてきた事などが紹介されました。

また、「令和3年度野生生物保護功労者」として、小笠原海運株式会社（乗船者への外来種持ち込み防止策対応、傷病あかぼっぱや捕獲ノネコ搬送への協力など）が、「令和3年度みどりの日 自然環境功労者」として、小笠原海洋島研究会（海洋ゴミ回収、固有ハンミョウやトンボ類の保全活動など）が、それぞれ受賞されました。おめでとうございます！

～記念講演・ゲスト講演～

東北大の千葉聡教授より、遺産登録の立役者である固有の陸産貝類の魅力と、危機的な現状と様々な保全対策が伝えられました。

金沢大の海野進教授からは、約5,000万年前の小笠原諸島の成り立ちを、地形地質の視点から詳しく解説。ボニナイトの価値や西之島の紹介もありました。

ゲスト講演として、さかなクンが来島された時の思い出を交え、海のいきものをイラストで楽しく披露してくれました。

～トークセッション「未来へつないでいくためにできること」～

後半は都立大の可知特任教授をコーディネーターに、講演された方々や地元代表の渋谷副村長を交えてのトークコーナー。以下は、お題の「未来につなぐ」への各コメント。「島っ子が専門的な道に進み、保全に携わることを期待」（千葉）、「大地の魅力（地形地質）も伝えていく工夫を」（海野）、「実際に訪島して自然を体感して。身近なことから保全を」（さかなクン）、「動植物の魅力に境界は無い。海も陸も島全体を楽しんで」（渋谷）、「キーワードは『つながり』。世界中そして未来へつながるように」（可知）。

～おわりに～

締めくくりは森下村長から。「過去を見て未来を考える」として、小笠原の自然を後世につないでいくために、皆と考えながら保全に取り組んでいきたい、とのメッセージがありました。

～式典を終えて（所感）～

小笠原では遺産登録以前から外来種対策や希少種保全などが行われており、それも評価されたと考えると当時は誇らしく思えました。次々に課題が積み上がり、同時に成果も得られ、非常に濃密な10年間だったと感じます。現在の取り組みがいずれ歴史となり、未来へとつながっていくように今後の保全活動に取り組めたら！と思います。

令和3年第3回定例会会議日程表（予定）

月 日	開始時間	会議名	内容
9月15日（水）	午前10時	本会議	会期の決定、一般質問等
9月16日（木）	午前 9時	総務委員会	
	午前11時30分	硫黄島調査特別委員会	
	午後 2時	小笠原航空路開設推進特別委員会	
	午後 3時	本会議	議案審議、決特設置
9月28日（火）	午後 2時	令和2年度決算特別委員会	
9月29日（水）	午前 9時	令和元年度決算特別委員会	
	午後 2時	本会議	議案審議、決算採決等

本会議、各委員会は傍聴できます。開会5分前まで傍聴受付を行っています。
テレビ11チャンネル中継放送、Youtubeでライブ配信を行います。ぜひご覧ください。



会議での発言内容など詳しく知りたい時は、会議録をご覧ください。

- 村役場議会事務局
- 地域福祉センター図書室
- 母島支所
- 母島図書室



で閲覧できます。

パソコンやスマートフォンなどでも見ることもできます。

小笠原村公式サイト→議会事務局→会議録で **検 索**

平成26年の本会議、委員会から、会議録検索システムで閲覧・検索ができるようになりました。過去の会議については順次掲載する予定です。

編集後記

新型コロナはここへきてデルタ株が世界を席巻しています。

緊急事態宣言が延長し、オリンピックで外国から大勢人が来ることで、より強い変異種が発生するのではと危惧しています。村民が生きていくための経済活性と村民生活の安定を図るために、アフターコロナを見据えた独自のコロナ対策と経済対策を行っていく村のビジョン作成が重要になります。

各地で水害・土砂災害が発生し、目を覆うような光景が報道されています。地球温暖化の影響もありますが、小笠原では台風・津波等災害対策も万全を期すよう、皆様のアイデアもぜひ、お聞かせ下さい。

安藤 重行

★議会だより編集委員

安藤重行 清水良一

築館俊一 金子 隆★

去る7月29日、森下一男村長がご逝去されました。村議会一同、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

小笠原村議会一同